

突然ですが・・・
教えて！縄文博士！！

● 秦野の縄文時代について市民からの質問状！！



秦野市で活動されている団体「ココハダ LAB」さんが、秦野市民のみなさんが抱く素朴な遺跡発掘についての質問をまとめてくれました！！たくさんいただきましたが、厳選して当財団の縄文博士たちがお答えいたします！！

●縄文時代と言えば縄文式土器ですが、出土した土器によって時代の前期・中期・後期が判別されることはありますか？

●勾玉や貝を使った宝飾品などもあるようですが、日常的に着飾る、おしゃれ事情はどうだったのかしら？縄文のおしゃれが気になります！

●縄文時代の服装というと麻布を使った服をきてた印象があるのですが、袖がない？ように思います。寒くはなかったのでしょうか。北の方では毛皮などもつかっていたようですが、当時の関東地方は温暖な気候だったのかしら？

出土した土器の型式の移り変わりを年代の目盛りにしていきますので、土器の特徴によって、大別（草創期・早期・前期・中期・後期・晩期）やさらに細かい時期や段階を把握していきます。必要に応じて科学的な年代測定も併用して遺構の時代を決めていきます。

当時の具体的な「おしゃれ」の様子を把握できる出土事例が無いため、衣装は現在のところ大きな謎の一つです。しかし「おしゃれ」のように自由に飾れたものではなく、実用本位な場合や祭礼などでは集団で決められたものをまとったり、装着していたのかもしれない。土偶の文様にそのヒントがありそうです。

土偶のことや縄文時代の集落のことをもっと詳しく知りたい方は財団HPにある「特別研究講座」の資料をみてね！

約 6000 年前の縄文時代早期末から前期にかけて温暖化のピークを迎えたようです。現在より平均海水温が約 2℃、海面が約 4m 高くなったという古環境の研究があり、“縄文海進”と呼ばれています。内陸部でも貝塚が見つかるのはその証拠になります。

前期

中期

後期

行事案内

■ 令和 3 (2021) 年度発掘調査成果発表会

内容：かながわ考古学財団が令和 2 年度に実施した遺跡の調査成果について発表します。
日時：2021 (令和 3) 年 7 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:00 (受付 9:30 ~)
会場：横浜市歴史博物館 講堂 〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1
申込：事前申し込み制 (定員 92 名) ※締め切り 6 月 11 日 (必着)。応募多数の場合は抽選。
申込は (公財) かながわ考古学財団まで。
アクセス：横浜市営地下鉄 センター北駅下車 徒歩 5 分

■ 令和 3 (2021) 年度出土品展示会

内容：かながわ考古学財団が令和 2 年度に実施した遺跡から出土した遺物の展示会をいたします。
日時：2021 (令和 3) 年 6 月 15 日 (火) ~ 7 月 4 日 (日) 9:00 ~ 16:30 (発券は閉館 30 分前まで)
会場：横浜市歴史博物館 常設展示内スタディーサロン (中央の広場) ※見学には博物館入館料がかかります。

◎財団の行事案内については、詳細が決まり次第ホームページ・Facebook にてご連絡いたします。



お問い合わせ

(公財) かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
E-mail: fukyu@kaf.or.jp
TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162



発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。



考古学財団発掘帖

No.35 2021 (令和 3) 年第 1 号
令和 3 年 6 月 1 日発行

編集・発行：(公財) かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162
ホームページ: <https://www.kaf.or.jp>
Facebook: <https://www.facebook.com/kanagawakougakuzaidan/>



考古学財団 公益財団法人かながわ考古学財団情報誌

はっくつちょう 発掘帖 No.35

2021 (令和 3) 年第 1 号



縄文時代の埋没林



フクロウの羽根

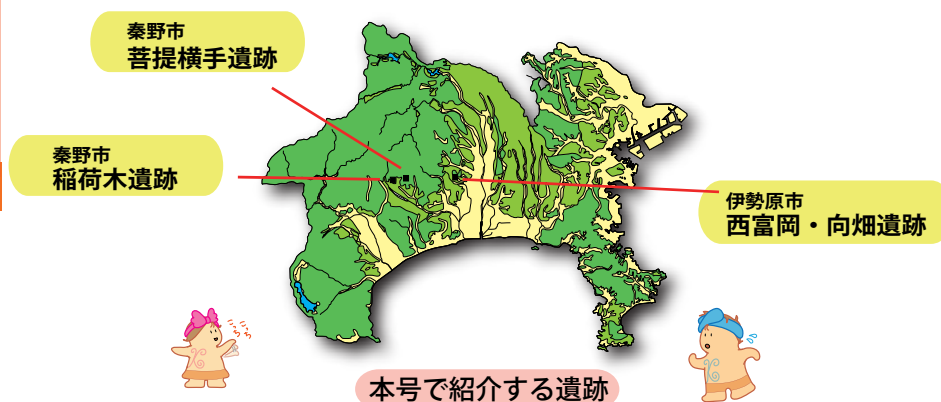
セミの幼虫

ササ

西富岡・向畑遺跡で、縄文時代後期の埋没林を発見！

この埋没林は、地滑りによる 5 m の厚さの土砂でパックされた縄文時代後期の樹木です。なぎ倒された木とともに、当時の笹や緑色をした木の葉、昆虫、「鳥の羽根」などが見つかりました。縄文時代の鳥の羽根が見つかったのは全国初です。現在までに 4 点見つかり、**「ウ」「フクロウ」「カラス」**の羽根と見られます。**「セミの幼虫」**や**「クワガタ」**などの昆虫も多数見つかりました。その顔ぶれから、おそらく初夏（梅雨明け）から初秋くらいにパックされたものと考えられます。このように、当時の植生などを知る大変貴重な資料と言えます。

次ページの特集に続きます



秦野市
菩提横手遺跡

秦野市
稲荷木遺跡

伊勢原市
西富岡・向畑遺跡

本号で紹介する遺跡

次の見開きは、当財団の発掘調査成果による秦野市内の縄文時代の遺跡についてご紹介しています。

※調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。